



# 『おもてなしの心』が会津地方の復興を後押し

～清流湯川 実現するのは 市民の心～



会津若松建設事務所祭倶楽部「やってみっ会」活動体験記

Vol. 37

## 春の一斉清掃

2013/4/21

今年は、NHK大河ドラマ「八重の桜」の放送により、会津若松市が注目を浴び、全国各地からの観光客を受け入れようと多くの方々が頑張っておられますが、市の中心市街地を流れる湯川・古川は、多くの都市河川と同様にゴミが投げ捨てられている状況にあります。

「湯川の水環境を考える市民の会」では、湯川・古川の水環境を改善するための取り組みを行ってありますが、今年も市民の皆さん一人一人の「捨てない心」を育むことを目的に、多数の観光客が訪れるゴールデンウィーク前（4月21日（日））の朝6時から春の一斉清掃を実施しました。

当日は、季節外れの雪が降る悪天候にもかかわらず、100名を超える市民の方々がボランティアに参加していただきました。主なゴミは空き缶やペットボトルでしたが、中には自転車やテレビなどの大型ゴミもあり、軽トラック約9台分のゴミを回収することができました。

当事務所からも、『やってみっ会』を中心に22名の職員が参加し、会津若松を訪れる多くの皆さまに対する「おもてなし」に貢献しました。

### 作業状況

### 作業結果



なんと！自転車まで

市民のみなさま御協力ありがとうございました。

